

国見地域審議会

答 申 書

平成28年3月29日

国見地域審議会

目次

「農業の振興について」・・・P 1

「水産業の振興について」・・・P 2

「特産品の販売拡大や新たな商品開発について」・・・P 3

答 申 書

雲仙市長 金澤 秀三郎 様

平成27年5月18日付けで諮問のあった事項について、当地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

新市建設計画(総合計画)の執行状況に関する事項について

[農業の振興について]

農業の振興については、農業従事者の人材不足の解消が重要であると考えられます。農業従事者の人材不足については、農業に対する印象があまりよくないことが一因であると考えられ、下記のとおり、対策が求められます。

- ・実際に体験しなければ知り得ない農業の魅力を、小中学校の職場体験等の授業を活用し、農業体験を実施することが重要であると考えられます。
- ・農繁期においては、一時的に労働力が必要となりますが、市側からの農援隊に対する支援がなくなり、労働力の確保

が難しくなることが懸念されます。市において、農業に興味のある人材をスポット的に雇用する仕組みを整え、農業従事者の支援を図るとともに、交流人口の拡大を図る制度の創設を望みます。

- ・農家への花嫁不足が深刻な課題となっております。農業従事者は特に、異性との出会いの機会が少ない事が考えられるため、農業従事者への婚活支援が求められます。

[水産業の振興について]

市においては、アサリ稚貝、カキ種購入に対する助成が実施されるなど、水産業の振興に対する支援の実施が図られております。しかし、アサリの稚貝の生育が芳しくない状況が続くなど、課題が散見され、対策が求められています。

- ・本地域では、独自に、アサリの生育を促すために、覆砂を敷く対策を行っております。こういった独自の対策に効果が認められた場合、市におかれましては、継続的に対策が実施できるような支援制度の創設が求められます。
- ・海中生物の産卵場所となる藻場の減少が見受けられるなど、環境要因が変化しております。環境要因の変化の原因の調査及び、対策が求められます。
- ・農業や水産業が産業として地域に根付き、地域から求められることが重要です。そのためには、地域内での販路を確立し、地産地消の取り組みを進め、地域住民が自ら地域の産業に理解を深めるとともに、産業の振興に貢献している

という意識付けを行なっていくことが重要です。

[特産品の販売拡大や新たな商品開発について]

- ・消費行動の変化により、従来の店舗型の取引だけではなく、インターネットを活用し、消費者と第一次産業従事者で直接取引をするなど新たな販路が拡大しておりますが、本地域においては、情報発信力が乏しく、新たな消費者を獲得できていない状況にあるため、時代に応じた販売方法の助言を行なうなど、市からの支援が求められます。
- ・異業種間の意見交換の機会を作り、特産品を活用した商品開発などアイディアの共有を図り、6次産業化を促進する取組みが求められます。

なお、本計画は新市を建設していくため、長期的視野に立って策定されたものであり、本答申で指摘した事項を始め、市が行う諸施策の展開については、健全な財政運営を常に心がけ、地域や市民と協働のもと、計画に示される将来像の実現に向けた弛まぬ努力を行なっていく必要があります。

地域振興に関する事項について

別紙、提言書のとおりとする。

平成28年3月29日

国見地域審議会
会長 齋藤 正勝